

総務委員会

平成26年度長崎市一般会計補正予算第4号(総務委員会所管部分)を修正可決

総務費において、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産登録に向け、外海地区の受け入れ態勢を整備するための費用が計上されていることから、教会における観光客の受け入れ態勢、駐車場における混雑時の対応、トイレ及び駐車場の整備をイコモス調査前に完了させる考えの有無について質すなど慎重に審査しました。

また、4名の委員から、環境経済委員会において、MICE施設を念頭に置いた交流拠点施設用地取得のための土地開発基金積立金を減額する修正案が可決されたことから、該当する歳入を減額する修正案が提出されました。

委員会では、修正案及び修正部分を除く原案について討論を行い、修正案に反対する立場から、取得しようとしている土地に大型商業施設が建設されると中心市街地やまちづくりに影響を与えることから公共用地として取得する必要がありとの反対意見が出された一方、賛成の立場から、議会を軽視したJR貨物との土地取得に係る事前交渉のあり方や市民への周知が不足して

いることを主な論拠とする賛成意見が出されました。

その他、修正部分を除く原案に関して、世界遺産への登録が順調に進むよう受け入れ態勢の整備を進めてほしいなどの賛成意見が出され、採決の結果、修正可決しました。

教育厚生委員会

平成26年度長崎市一般会計補正予算第4号(教育厚生委員会所管部分)を可決

民生費において、野母崎診療所に併設する介護・福祉施設を運営する事業者に対し、施設改修に係る費用を助成する、高齢者福祉施設整備事業費補助金が計上されていることから、新たな施設の人員体制及び地元雇用の見込みについて質すなど慎重に審査しました。

その結果、高齢者福祉施設整備事業費補助金については、これまでの野母崎診療所の活用に対する地元の懸念が一定解消で



▲施設が併設される野母崎診療所

環境経済委員会

平成26年度長崎市一般会計補正予算第4号(環境経済委員会所管部分)を修正可決

きるよう、来年9月の特別養護老人ホームの設置に向けて十分な支援を行ってほしいとの要望を付した賛成意見が出され、異議なく原案を可決しました。

災害復旧費において、今年7月の豪雨や台風により被害を受けた農業用施設や漁港施設に係る復旧工事を行うための農業用施設災害復旧費、漁港災害復旧費が計上されていることから、耕作放棄地が被災した際に土地所有者と連絡が取れない場合の対応や費用分担の考え方、災害復旧に迅速に対応するための当初予算の措置のあり方、既存施設の有効利用や長寿命化を図るストックマネジメントの取り組みとあわせて法面の保護を優先的に実施していく考え、漁港施設の維持管理体制について質すなど、慎重に審査しました。

委員会では、MICE施設を念頭に置いた土地取得特別会計補正予算が否決となったことに伴い、用地購入費の財源の一部として積み立てる土地開発基金積立金を減額する修正案が提出され、修正案及び修正部分を除く原案に

建設水道委員会

平成26年度長崎市一般会計補正予算第4号(建設水道委員会所管部分)を可決

賛成する立場から、災害復旧費については、予防保全の観点から、必要な維持管理費を十分に確保し、今後の災害に備えて欲しい、漁港海岸環境施設について、しっかりとした護岸として整備した上で維持管理を行い、今後は同様の被害が発生しないように努めてほしいなどの賛成意見が出され、採決の結果、修正可決しました。

土木費において、新しい長崎駅舎を含む駅周辺のデザイン検討のための、長崎駅舎・駅前広場等デザイン基本計画作成業務に要する経費の一部を負担する土地区画整理事業費が計上されていることから、東口駅前交通広場からの国道横断において、地下歩道を設けず平面移動とすることの妥当性、デザイン指針対象範囲の考え方と西坂から諏訪の森方面への歩行者動線との関連性、駅を中心とした交通結節機能における県営バスターミナルの位置づけについて慎重に審査した結果、異議なく原案を可決しました。